

令和6年度 学校経営報告書

八王子市立横川中学校

校長木暮恵一郎

Ⅰ. 今年度の取組と自己評価

目指す学校像(下線部は、今年度の重点目標への取組)

(1) 自ら学ぶ意欲を持ち、確かな学力が定着できる学校

①教科指導の充実

・全教員が学習のねらいを明確に示し、すべての生徒にとって、わかりやすい授業実践を推進。

＊生徒の授業評価アンケート結果【先生の教え方、説明はわかりやすい】

生徒の肯定的評価90%

②基礎基本的な学習内容の定着

・長期休業中や放課後の学習教室(学習強化週間)等で、生徒一人一人の学習課題を明確にし、学習指導、支援を実施した。

・八王子市の学力調査結果、検定試験(英検、漢検等)を活用し、学習意欲の向上に努めた。

＊学校評価アンケート結果

【本校の特色ある教育活動(少人数授業、学習教室等)を知っている。】

生徒の肯定的評価94%、保護者の肯定的評価95%

③ICT教育機器の活用

・学習用端末、テレビモニターを活用し生徒の興味、関心を喚起し、学習内容の視覚化、共有化を図り理解を深めさせた。

・ICT支援員を活用し、新たにオクリンクプラス等の情報共有を促進し、全教員が学習用端末を活用した授業方法を学んだ。

ICT教育機器を活用した授業実践研究(研究授業・協議会)を年2回実施した。

・デジタル教科書(英語)を活用し、主体的に学習に取り組む生徒の育成を図った。

・はちおうじ子ミニマムのふり返りで、学習コンテンツ(ドリルパーク)を活用し、学力の確実な定着を進めた。

＊学校評価アンケート結果

【授業で説明、板書、話し合い活動、ICT機器の活用に取り組んでいる。】

生徒の肯定的評価93%、保護者の肯定的評価73%

(2) 自他を尊重し、安全で楽しく、笑顔のあふれる学校

①生活指導の充実

・全教員が、『生活指導の手引き』に基づいた一貫性のある指導を継続した。

・生徒会主催行事であるニコニコDays(挨拶運動)を定期的の実施し、元気よくあいさつができる生徒を育て、集団の一員として、行動できる生徒の育成を進めた。

＊学校評価アンケート結果【先生たちは、生活指導に熱心に取り組んでいる。】

生徒の肯定的評価87%、保護者の肯定的評価80%

②いじめを許さない学校づくり

- ・学校いじめ防止基本方針に基づき、毎週学校いじめ対策委員会を開催した。
- ・毎学期、いじめ防止アンケートの実施し、初期対応から複数対応の徹底を図った。
- ・気になる生徒、不登校や長欠生徒の保護者との定期的な連絡を全学級で、確実に行った、校内委員会、各学年会、職員会で情報共有を徹底した。

＊学校評価アンケート結果【いじめのない学校づくりに取り組んでいる。】

生徒の肯定的評価74%、保護者の肯定的評価75%

③人権尊重教育の推進

- ・特別の教科 道徳の授業を要として、教育活動全体を通じて道徳教育を充実させた。
- ・学年教員がローテーション道徳を実践し、考え、議論する学習を進めた。
- ・各学年とも、22の内容項目に沿い、心豊かな生徒の育成を図った。

＊学校評価アンケート結果【自分を大切にし、他の人を思いやり行動することができる。】

生徒の肯定的評価85%、保護者の肯定的評価68%

(3) 将来の夢の実現に向けて、生き生きと活動できる学校

①進路指導の充実

- ・各学年とも、計画的に進路学習を実践できた。
- ・はちおうじっ子キャリアパスポートを活用し、自己の変容や成長を自己評価できた。

②特別活動の充実

- ・体育祭、音楽祭を実行委員会方式で実施、生徒の自治意識の向上が図れた。
- ・学校行事、生徒会、学級活動、部活動を通し、感動と喜びが得られる教育活動を展開できた。

③特別支援教育の推進

- ・毎週校内委員会を開催し、特別な支援を必要とする生徒の実態を把握し、個に応じた教育を進めた。特別支援教室との連携も進めた。

巡回指導教員と連携し、個別指導計画に沿い適切な支援を行った。

・特別支援コーディネーターを中心に、巡回指導教員、巡回相談心理士から適切な助言を受け、連携型個別指導計画を作成した。

＊学校評価アンケート結果【特別支援教育取り組み】

保護者の肯定的評価44%、わからないは44%

(4) 家庭、地域と連携し、信頼され、開かれた学校

①開かれた学校づくり

- ・学校だよりや学年、学級だより等を発行し、学校の生活の様子、道徳の授業（道徳授業地区公開講座）や進路指導（進路説明会）の内容を広く保護者に伝えた。
- ・ホームページによる情報発信、新たにホーム&スクールを活用し、広報活動を推進した。

②家庭、地域との信頼関係構築

- ・会計マニュアルに基づく私費会計の組織的な進行管理を行った。
- ・各活動の目的を明確にし、実施後、速やかに成果と課題の検証を行うことで、

計画的な学校評価を行った。

③地域運営学校の推進

- ・地域運営学校として、学校運営協議会を通じた地域との連携を推進した。
 - ・青少対活動との連携を図り、地域清掃、挨拶運動に協力できた。
 - ・横川小学校と目指す学校像を共有し、9年間を見通した教育指導を展開した。
- 青少対活動と連携を図り、地域行事に協力することができた。

*学校評価アンケート結果

【横川小と一緒に行う取組（生徒会サミット、地域清掃など）を知っている。】

生徒の肯定的評価79%、保護者の肯定的評価90%

2. 次年度以降への課題と対応策（下線部は、次年度の重点目標）

①教科指導の充実

ICT教育機器を効果的に活用することで、生徒の主体的・対話的な活動を促進する授業づくりを推進する。

少人数指導を効果的に進め、生徒の理解や習熟度に応じたきめ細かい指導の充実を図る。

②基礎基本的な学習内容の定着

学力調査結果、検定試験（英検、漢検等）を活用し、生徒一人一人の学力を把握する。

放課後、学習強化週間や長期休業中等に補充授業を実施する。

③特別支援教育の充実

特別な支援を必要とする生徒の実態を把握し、個に応じた教育を進める。

特別支援教育コーディネーターを中心に、巡回指導教員、巡回相談心理士との連携
及び特別支援教室専門員を活用し、適切な支援を行う。